

提案団体名: セコム医療システム株式会社 (複数団体による提案も可とします)

○提案内容

(1) 自社の保有するスマートアイランドの実現に資する技術と実績等

技術の分野

■セコム遠隔診療支援プラットフォーム

生体データを常時リアルタイムに収集・蓄積し、医師や看護師が遠隔から状態を確認できます。機能にはオートアラート、ビデオ通話、トレンドグラフ表示、連携機関との情報共有があり『在宅診療医の負担軽減や診療の質向上』に貢献することを目

※総務省「令和元年オンライン診療の普及促進に向けたモデル構築にかかる調査研究」の実証

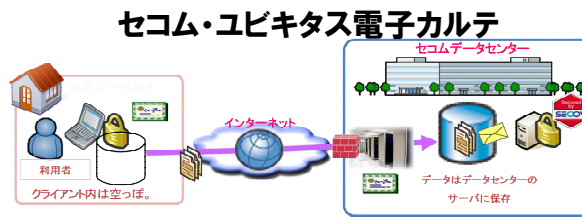


下記のうち、該当するものを○で囲んでください。

- 交通・モビリティ
- エネルギー
- 物流
- 防災
- 観光
- 教育
- 健康・医療
- 環境
- 産業
- 担い手確保・人材育成
- その他

■セコム・クラウド型電子カルテ

クラウド型なのでインターネット環境さえあれば、どこからでも利用できます。データはすべてセコムのデータセンターで安全に保管されるので、クライアントPCを紛失してもデータの外部漏洩の危険がありません。医事システムと連携できます。



※クラウド型電子カルテ国内件数シェアNO.1です。(富士経済2019年調査)

(2) (1)の技術を用いて解決する離島の課題のイメージ

「最後まで自宅で過ごしたい」という島民の願いに応えるため、自治体と協力して、限られた医療拠点および人材を効果的に機能させる遠隔診療ネットワークを構築します。これにより島が抱える様々な医療課題の解決を図り、本土と同じ専門医療を受診でき、安心して子育てできる環境を実現します。



(3) その他

多くの離島で独居看取り患者や病院に通えない高齢患者が増加していますが、医師や在宅医療拠点が不足しており、「最後まで自宅で過ごしたい」という島民の希望に応え続けるのは困難な状況にあると思われます。クラウド型の電子カルテと遠隔診療支援システムを導入すれば、いつでもどこでもオンライン診療を実施することが可能となり、患者や医師の移動負担を減らして、診療の「スピード」と「密度」を高めることができます。加えて、看取りや不安定な在宅患者に対する常時・リアルタイムバイタルモニタリング、そして島外の専門医とのオンライン診療も可能です。またハイリスク妊婦モニタリングや救急搬送時モニタリングにも応用できます。「最後まで自宅で」という島民の願いを叶え、本土と同じ専門医療を受診でき、安心して子育てをできる環境を離島で実現できると考えます。

※(1)(2)について、複数ある場合は項目毎に対応の記載をお願いします。

※既に構想中、実施中のプロジェクトがある場合は、別途そのプロジェクト単独での提案も可能です。

※参考資料がある場合は適宜添付をお願いします。

○部局名・担当者・連絡先(電話及びメール)

部局名	担当者	連絡先(電話)	連絡先(メール)
-----	-----	---------	----------

企画本部	野口 邦晴	070-3520-6419	<a href="mailto:ku-noguchi@secom.co.jp">ku-noguchi@secom.co.jp</a> <a href="mailto:ku-noguchi@healthcarenet.jp">ku-noguchi@healthcarenet.jp</a>
------	-------	---------------	--